

県内縫製産業のDX実現に向けたRPA /RFIDの導入による新たな商品管理体制構築

総事業費 11,200,000円

事業者名:株式会社日進商会 (所在地:沖縄県那覇市/業種:卸売業)

事業内容

事業目的/概要

- RFIDによる在庫管理で販売動向の解像度を高め、「売り物・売り方・売り先」を踏まえた販売戦略の高度化に繋げる
- 現在、属人化されマニュアルで行われている在庫・販売関連のデータ整備をシステム活用して、誰にでも取り組める業務に転換し、労働生産性を高める
- データ分析により在庫消化率を高め、環境負荷を意識した持続可能な経営体制の構築に繋げる

連携IT企業

事業者名 : 株式会社okicom

本事業で見込まれる効果

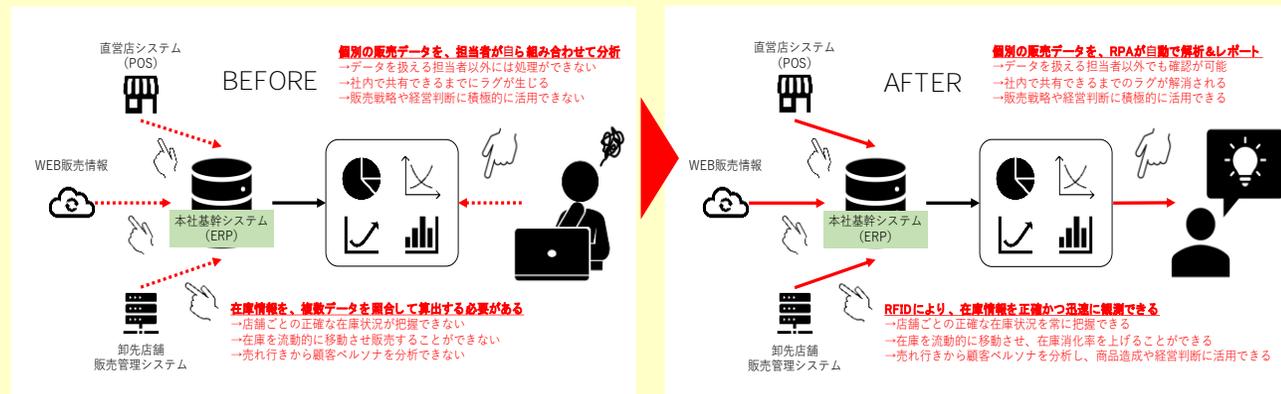
- 在庫管理を最適化することにより、新作商品の販売シーズンにおける消化率を図り収益力の向上が見込める
→ R4年度/在庫消化率 1.6%UP (R7年度まで消化率 80%を目指す)
- 在庫把握・販売分析用の資料作成に要していた作業の省人化
→1週間当たりの当該業務に投じていた時間:8時間 担当者数:2名
8時間 x 52週 x 2名 = 832時間 >>> 年間節約される労働時間の概算値

本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

- 顧客ひとりひとりのウェアの利用状況を把握し、年間を通じて、季節ごとのパーソナライズを実現。
- かりゆしウェアのコーディネート提案・着用回数が少なくなっているウェアのリセール、またはトレード推奨するリコメント機能の付加。
- 古くなっているかりゆしウェアのクリーニング、リペアサービスなど、これまで“購入”のタイミングでしか生まれなかった顧客接点を増大。
- 顧客とのインタラクティブなサービスを通じ、“Clothing as a Service (CaaS)”を実現し、顧客に選ばれ続けること。また、環境にも配慮現し、マーケットインの発想が徹底された商品開発を実現。

事業概要スキーム等

RPA・RFIDシステム 導入前・導入後 比較イメージ



～めざす姿～



今後は、県産品であるかりゆしウェア産業のリーディングカンパニーとしての自社の強みを活かしつつ、本事業でRPA/RFIDの導入により、これまで人の手に大きく依存していた商品管理体制をDX推進し、県内縫製業界でのひとつの成功事例となることで、同業界ならびに他産業へもDXの効果が波及することを目指します。